



2015年  
5月15日  
NO.386

九州旅客鉄道労働組合

福岡市博多区博多駅前2丁目3-23  
TEL 092-472-7950(代)  
URL http://www.jr-krwu.org  
発行人/許斐元文 編集人/木村智隆

第86回メーデー開催

平和を守り、雇用を立て直す

みんなの安心のため、さらなる一歩を踏み出そう!!

4月29日から5月1日にかけて、「労働者の祭典」第86回メーデーが各地の会場で開催され、JR九州労組からも多くの組合員・家族が参加した。式典では、労働者保護ルールの改悪阻止と「全世代支援型」社会保障制度の確立などを求め、その実現のため全国統一行動をスタートさせると共に、平和への誓いを全ての仲間と共有し、「STOP THE 格差社会!」くらしの底上げ実現に邁進「働くことを軸とする安心社会」への扉を切り拓くとするメーデー宣言を、参加者全員の総意をもって採択した。

福岡地区



返してはならないという平和の誓いを継承していくこと」などの特別決議が採択された。

また、今年は戦後70周年の節目の年にあたることから、「平和の上にこそ社会や生活が成り立つ」として、世界の恒久平和実現に向けた取り組みが呼びかけられ、集会終了後、参加者全員によるデモ行進が行われた。

長崎地区



【通信員 花田 祐希】

4月29日福岡市舞鶴公園において、第86回福岡メーデーが開催され、「平和を守り、雇用を立て直す。みんなの安心のため、さらなる一歩を踏み出そう!」のスローガンの下、組合員・家族約6千名が参加した。主催者を代表して、連合福岡高島会長は「戦争で多くの犠牲を忘れないこと」また、国の安全保障をめぐる安倍政権の対応について、「一つひとつ政治を変えていくことが将来への義務だ」と挨拶された。

労働者の祭典、第86回長崎地区メーデーが「すべての働く者の連帯で、自由で平和な世界と希望もてる安心で豊かな社会をつくらう!」をメインスローガンに、5月1日、長崎水辺の森公園で開催されJR連合

長崎県協議会から組合員・家族が参加した。

主催者を代表して挨拶された、連合長崎地協協長の酒井実行委員長は「2015春闘では総力を結集し、月例賃金にこだわり、すべての働く者の処遇改善を求め、その成果を地域に広げる」

「労働者を軸とした安心社会の実現に努め、労働組合の社会的意義をアピールし多くの仲間を増やす」

「来夏施行される第24回参議院選挙に精力的に取り組み」

「平和の誓いを次世代へ継承しよう」と訴えた。来賓祝辞では、高木民主党長崎県連代表より「日頃から支援と協力に対し御礼を述べるとともに民主党への厳しい意見を真摯に受け止めしっかりと対応していく」との挨拶がされた。

その後、長崎地区メーデー特別決議として「地場・中小組合2015春季生活闘争を支援する特別決議」「核兵器廃絶と恒久平和をめざす特別決議」を満場一致で採択した。

また、恒例となったお楽しみ抽選会では、東日本大震災復興支援物資が多く用

大分地区



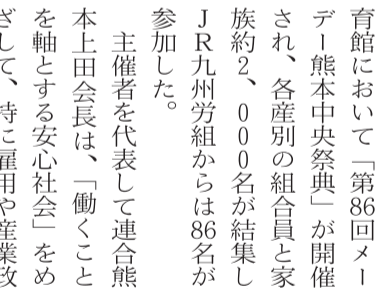
意され、4年が経過した被災地の復興・再生を引き続き継続・強化していく取り組みが行われた。

【通信員 吉田 友明】

4月29日、大分市「若草公園」において連合大分主催の第86回メーデー大分県中央大会が開催され、組合員・家族約3,000名(JR連合からは約50名)が参加した。

式典の部では、冒頭、主催者を代表して連合大分村田会長が挨拶に立ち、「労働基準法や労働者派遣法の改悪には断固として反対しないといけない。格差は正に向けて、すべての労働者の労働条件改善に向けて取り組んでいこう」と訴えた。

熊本地区



その後、労働者保護ルール改悪阻止と「全世代支援型」社会保障の確立を求める「メーデー宣言」が採択され、今後も労働者が一致団結して闘い続けることを確認し、最後に団結ガンパローで式典の部は閉会した。

引き続き開催された祭典の部では、お楽しみ大抽選会や仮面ライダードライブショーなど、子どもから大人まで楽しめるイベントが行われ、最後まで大いに賑わった。

主催者を代表して連合熊本上田会長は、「働くことを軸とする安心社会」をめざして、特に雇用や産業政策に重点を置き、労働者・市民が暮らしやすい、不安のない地域社会を創ることを目的に更なる「制度・政策要求」の策定や、熊本県をはじめとする自治体に対する要求と提言を行いたい。

また、5月16日には、あらゆる利害関係人が参加して地域全体の活性化に向けた意見交換とネットワークを拡げることにつなげるための『地域フォーラム』を開催する。」と挨拶された。

来賓には熊本県梶島知事が参加、「支援頂いてい

【通信員 岡村 悠也】

4月29日、熊本市総合体育館において「第86回メーデー熊本中央祭典」が開催され、各産別の組合員と家族約2,000名が結果し、JR九州労組からは86名が参加した。

鹿兒島地区



連合熊本の『メーデー熊本中央祭典』には、分刻みの忙しい公務でも時間を裂いて必ず出席する」との連帯の挨拶がされた。

祭典では、JR九州労組熊本地方本部青年・女性委員会委員長でもある、連合熊本青年委員会増元委員長によって「メーデー宣言」が読み上げられ、満場の拍手で採択された。

また、当初は辛島公園に集合し、デモ行進をしながらいと上通りを経由して白川公園に集結する予定であったが、雨予報などを前日に判断し、室内の開催が余儀なくされたが、各産別から選出された実行委員の皆さんの御尽力により盛大に開催されたメーデーとなった。

第86回メーデー鹿兒島県中央集会在4月29日、鹿兒島市中央公園で開催された。当初、天候が心配されていたが参加者の熱気が伝わるかのような晴天となった。集会には30団体、約3,000人が参加し、地本からは子供と家族を含め96名が参加した。

集会では、主催者を代表して連合鹿兒島榮留会長代行が挨拶を行い、私たち労働者を取りまく現状と2015春闘の情勢報告、4月12日に行われた統一地方選挙の取り組みについて構成組織への感謝とお礼が述べられた。



その後、鹿兒島県知事・鹿兒島市長・各政党等から来賓挨拶を受け、メーデー宣言と、「労働者保護ルールの改悪阻止!年金積立金」は誰のもの?全国統一行動開始宣言」の特別決議の提案を満場一致で採択し、その後、プラカード展の表彰を行い閉会した。

プラカード展の表彰では、鹿兒島地区連合の作品が2位に選ばれ、大きな拍手が巻き起こった。

閉会后、鹿兒島の繁華街である天文館でデモ行進を行い、会場に戻った後、みんなで弁当を食べながらの大抽選会が行われた。子供たちにはお菓子の詰め合わせも配られ、会場が「笑い声」と「笑顔」に包まれ終了した。

【通信員 青木 幹雄】



# シリーズ『チャレンジ2018』 vol.2

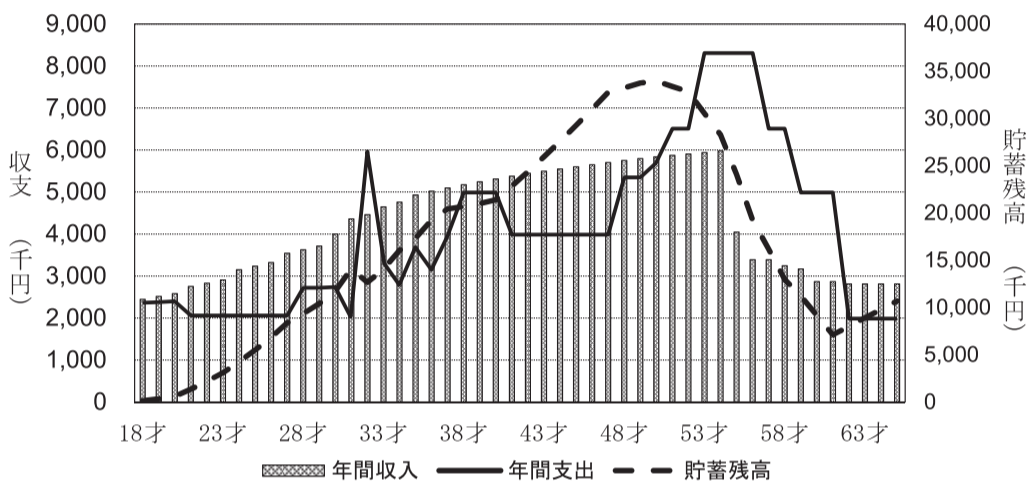
## ◎ ゆとり・豊かさを基軸とした中期労働政策の実現に向けて

### ○組合員のライフプランの確立支援

就職後、長期にわたりJR九州の社員として過ごすうえで、結婚・出産・育児・住宅購入等、様々なライフサイクルに遭遇します。その中で、皆さん其々が異なるライフプランの設計と、老後を見据えた資産形成を行っていくことが重要です。また、豊かで安定的な暮らしを営むためにも各種制度を活用するとともに、より時代に即した制度の充実が必要です。

具体的には、就職から退職までのライフサイクルと、老後を見据えたライフプランの設定を早期に行うことで、各種福利厚生制度の活用と安定した生活運営を行うことが大切です。下図は年齢別収支の推移（イメージ）です。高卒で入社し、結婚や出産、マイホーム購入等の各ライフプランを設計した場合、生涯収入と生涯支出（左軸）の差額である貯蓄残高（右軸）は50才まで順調に増加するものの、50才から急降下し65才時点で1千万円程度になる見込みです。よって、老後の安定的な生活を考慮すれば、退職手当が重要な資産になることが分かります。

年齢別収支の推移（イメージ）



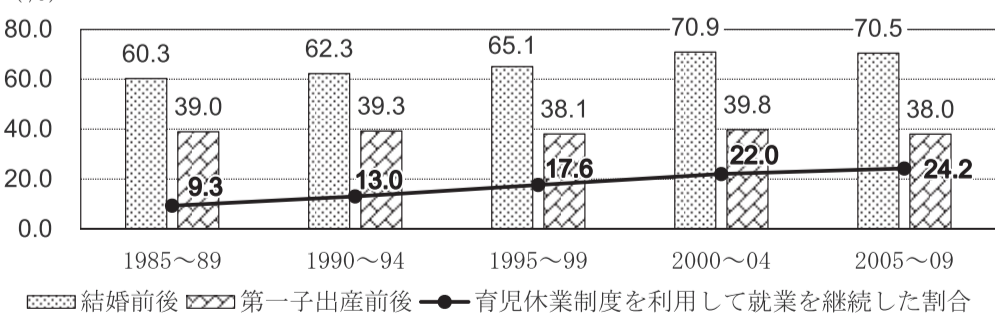
また、最も重要になるのが安定して働き続けることができる制度です。働くことに喜びと達成感を感じ、すべての組合員が安心して生活できる長期雇用の維持が重要です。

現在、JR九州の定年年齢は60才ですが、2013年度より開始された嘱託再雇用の全体化に伴い、65才までの雇用が維持されました。しかし、この制度は単年度契約であり、労働契約法に定める単年度契約の反復更新5回以上で、無期労働契約に転換できる制度も適用されません。よって、安定した生活設計を行うためには、定年年齢を65才まで引き上げる制度の確立が必要です。また、パートナースタッフの雇用制度においても、2013年度より施行された改正労働契約法により、2013年4月から有期労働契約が反復更新されて通算5年を超えたとき、個人の申し出によって有期雇用から無期雇用へ転換できるようになりました。この法改正により、最長で2020年度の契約から無期雇用への転換が可能になりますが、これまでのパートナースタッフの活躍や今後のモチベーションの維持向上のためにも、早期の無期雇用への転換が必要です。

次世代育成については、国立社会保障・人口問題研究所の出生動向基本調査によれば、結婚前後の妻の就業継続割合は1985年当初から上昇しているものの、第一子出産前後では依然として60%以上が退職を選択していることが分析されています。しかしながら、育児休業制度を利用した場合の就業継続は9.3%から24.2%に上昇しており、次世代育成には支援制度の充実が必要不可欠であると言えます。

よって、多くの女性組合員が求める短時間勤務制度の適用職種の拡大や、出産前・育児中に安心して就業できる職種への転換、保育事業等への参入を視野に入れた事業所内での保育施設の設置や時間単位での有給休暇取得等の整備が必要です。また、嘱託再雇用制度と連動した次世代育成支援制度の確立やJR九州の年齢構成を視野に入れた長期的な支援制度の確立が求められます。

結婚・出産前後の妻の就業継続割合



### 【今後の具体的な目標】

新ビジョンでの到達目標	株式上場までの到達目標
定年年齢 65 才の実現	改正労働契約法の早期適用
	次世代育成支援制度の確立



同PT第2回会合（3月31日開催）では、JR九州の完全民営化を見据え、JR会社法改正法案が審議されるにあたり、JR九州を取り巻く環境と株式上場に向けての考え方について、JR九州・JR九州労組からそれぞれヒヤリングを受けた。

ヒヤリングでは、JR九州よりこれまでの経営努力と経営状況、ならびに株式上場を目指す目的等について説明を受けるとともに、上場に向け全力で取り組む決意が示された。

# JR会社法改正法案に向け、 JR連合国会議員懇との連携を強化



同PTでは、JR九州を皮切りに、JR北海道・JR四国・JR貨物からヒヤリングを行う等、JR各社の将来展望を見据えた法案審議の展開を積極的に図っており、JR九州労組も、国会会中に成案が見込まれるJR会社法改正法案に対し、引き続きJR連合国会議員懇及びJR連合とともに、提言を行っていく。

税制特例の取り扱い等、JR九州労組として認識している懸念も示し、JR九州の経営実態を踏まえた対応と、かかる法案審議を併せて要請した。

続いて、許斐中央執行委員長から、労働組合として会社とともに株式上場に向けて取り組む姿勢を明らかにした上で、経営安定基金が取り崩された後の使途や、

## 分会を訪ねて

# 21 博多運転区分会

## 明るく 仲良く 元気よく！



- ◎ 執行委員長 大島 弘文
- ◎ 組織数 163名(組織率87%)
- ◎ 活動内容 博多運転区分会は、博多運転区の単独分会であり、執行委員会・乗務員会・青年・女性委員会という組織構成で活動を行っています。
- ◎ 業務内容は、主に福岡都市圏と筑肥線・佐世保線のECと、香椎線・久大本線のDC、またクルーズトレイン「ななつ星in九州」の乗務も受け持つっており、北部九州全域を幅広く乗務しています。
- ◎ また、組合員の年齢構成は、平成採用の組合員が全体の約65%を占めるまじりになりました。
- ◎ 執行委員会は毎月定例

開催しており、その他にも、春には乗務員会の企画によるレクリエーション、夏は青年・女性委員会主催によるキャンプの開催、秋は分会大会の開催、冬は乗務員会の懇親旅行と1年を通して、組合員が参加しやすく楽しい活動を行っています。

今後は、平成採用組合員への活動の継承を行っていくとともに、さらに明るく楽しく、力強い組織づくりができるよう、大島分会長のもと団結していきたいと思っております。